

社会とともに

“環境に配慮した輸送”を使命として

ヤマト運輸は、地域と共に健全に成長していきたいと考えています。そのために、社員一人ひとりが地元の環境を大切にする気持ちを持ち、日々の仕事での身近な行動を通して、環境保護に取り組んでいきます。

輸送サービスを提供し、維持していくにあたって、多くの貨物自動車を必要とする当社は、地域住民の皆様をはじめとする周辺環境への配慮から、地球規模の環境保全に至るまで、極めて重大な社会的責任を負っています。当社は「環境保護への取り組みなくして、企業の存続はない」という堅固な決意のもと、継続的な環境保護活動を展開しています。

当社は平成10年4月から、毎年200台ずつ、平成22年までに2,400台の低公害車導入を計画しました。実際の取り組みでは、大都市地域を中心とした排出ガスによる大気汚染防止対策により積極的に対応しよう、という前向きな姿勢を強く打ち出し、計画を大幅に上回るペースで低公害車導入を推進しました。その結果、8年の前倒しで当初目

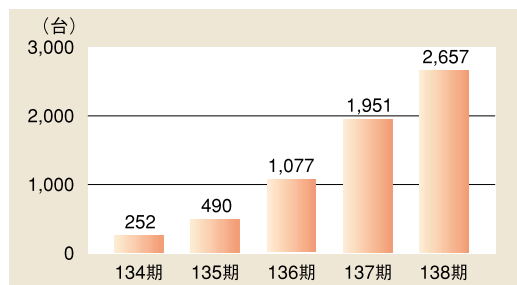
標達成、平成15年3月末までに2,657台の低公害車導入を実現しました。

また、自動車を使用せず^(*)台車を使って集配業務をおこなうサテライトセンターを都市部を中心に展開し、平成15年3月末現在で452店まで増設しました。荷物の増加に伴う車両台数の増加を抑制し、都市環境に配慮した集配業務を実施しています。

最近では、地球温暖化ガスおよび大気汚染物質の排出量削減に、極めて効果の高いハイブリッド車の開発も自動車メーカーと共同で推進し、すでに試作車を完成させ、テスト導入を果たしました。本格導入へ向けて検証作業を急ピッチで行っています。

*＝一部エリアでは軽自動車を使用する場合もあります。

■ 低公害車導入実績



地球にやさしいハイブリッドカー



台車を使って集配業務を行うサテライトセンター